

# えぬひい! Oh!

2013 冬  
Vol. 55



▶ 2P

SAVE JAPAN プロジェクト

～多くの生き物がすむ、仁淀川の豊かな環境と水を守ろう！ガサガサ探偵団～

▶ 3P

着ぐるみは心をひらく

～地域協働のきっかけ～

▶ 4～5P

記念すべき「第10回大会」に向けて

～いきいき百歳大交流大会実行委員会の活動～

▶ 6P

絵金生誕祭

～はりまや橋商店街の新たな取り組み～

▶ 7P

ボランティアコーディネーター研修

～共感を引き出し、制限や制度を超えていく力～

# えぬひい Oh!



多くの生き物がすむ、仁淀川の豊かな環境と水を守ろう！

## ガサガサ探偵団



### ① ガサガサ探偵開始！

タモ網とバケツを手に、嬉々として川に分け入る子ども達。大きな石をどけてはガサガサ、足で追い込んではガサガサ、やみくもにガサガサ。網にかかった大きな獲物も小さな獲物も、歓声とともにバケツの中へ。

10月12日（土）、前日までの雨が嘘のように晴れ上がり、初秋の陽射しを受けてきらきら輝く仁淀川に、およそ50名の親子連れが集まつて来ました。イベントを仕切るのは、特定非営利活動法人仁淀川お宝探偵団。仁淀川国際水切り大会、エコツアーや、ガサガサ探偵団などのイベントを企画し、仁淀川に親しんでもらい環境保全について考えるきっかけを与えるNPOです。

川には、その水質に適した生物が生息します。例えば、きれいな水ならカワゲラやサワガニ、とてもきたない水ならチョウバエやアメリカザリガニなど。では、本日採取した生物は、どの水質の指標種であるのか、採点してみましょう。

結果は、カワゲラ・ヒラタカゲロウ・ナガレトリゲラ・ヘビトンボの採取により、きれいな水が5点、オオシマトリゲラの採取によりややきれいな水が1点、きたない水、とてもきたない水の指標種は採取できませんでした。よって、仁淀川はきれいな水であることが分かりました。

### ③ 仁淀川って、やっぱきれい！

本日採取した生き物は、ウグイ・スッポン・ヌマチチブ・シマヨシノボリ・テナガエビ・カゲロウ・カマツカ・ギギ等々。前日の雨によつて水かさが増したにもかかわらず、たくさんの生き物の採取に成功しました。



メンバーから生き物の名前や生態について解説を受ける子ども達。その眼は真剣そのもの。

② 採れた生き物を観察して、名前を調べてみよう。



本日の講師は、NPO 法人仁淀川お宝探偵団の石川妙子先生（水生生物研究家）。

### ④ 絶滅危惧種って何？

仁淀川には、アカザやトビハゼ、シオマネキ等、絶滅危惧種とされる貴重な生き物がたくさんすんでいます。川をコンクリートで固めたり、まつすぐにしたり、せき止めると、生き物のすむ場所が少なくなつたり、川の上流と下流を行き来できなくなつたりします。変化に富んだよい環境がたくさん残つていれば、多くの種類の生き物がすむことができます。

子ども達は、ずぶ濡れになつて川で遊び、目を輝かせて生き物を採取しました。自然に親しむという原体験が、自然を守ろうという意識に繋がるかもしれません。

参加者は、仁淀川にはたくさんの種類・数の生き物が生息することに改めて感動し、その清き流れを誇りに思つたに違いありません。川を守るために何ができるか自らに問いかがら、採取した生き物をリリースして一日を終えました。

（青木）



# 着ぐるみは心をひらく

～地域協働のきっかけづくり～

先生が着ぐるみを最初に提案したとき、ほとんどの学生は疑問と戸惑いを感じていました。「ユニークではあるけれども果たして授業と呼べるものなのか?」「着ぐるみに入つてた。

## ■「着ぐるみ学」始動

学生が地域に関わっていく中で課題を発見し、解決する力を身に着けていくことを狙いとしています。しかし地域と交流を深めていく中で先生が気になったのは、学生の「コミュニケーション能力」。なかなか地域の方との距離感をつかめずにうまく話ができるない学生たちを見て、どうしたらよいかと考えたところ「着ぐるみを通して接する」ということに到達しました。



▲着ぐるみに入るための準備体操。  
表現を豊かにするためには欠かせません



▲四万十町の海洋堂ホビー館リニュー  
アルイベントに参加した受講生たち



▲先生は学生の発言をしっかりと聞き、  
学生自身に問題点を確認させる

高知大学の授業「地域協働入門」で行われているユニークな講義「着ぐるみ学」。着ぐるみに入ることで変化する、大学生と地域とのかかわり方について、講義を担当する特任講師、今城逸雄先生と受講している学生に話を伺いました。

## ■始まりは学生の「コミュニケーション力

何をするのか?」そんな疑問だらけの学生たちは外部から招いた講師の演技指導を受け、先生はその成果を発揮する実習として高知市の幼稚園や市立保育園、地域のイベントへどんどんと繰り出していくました。



▲学生同士で動きを確認して、改善点などを探っていく

## ■さいやこに

着ぐるみで地域の方々と接することで、相手に対する人の警戒心を解くと同時に、学生は素の自分でいることができる。地域協働を推進していくうえで重要な「コミュニケーション」を潤滑にするきっかけとなることが分かりました。

実際に授業を受けた学生に聞いてみると「いつもは目立たないように行動してしまうけれど、着ぐるみに入っている間は大胆になれる」、「(着ぐるみの中では)老若男女問わず誰にでも(もちろん見た目の怖いお兄さんにも:笑)積極的に近づいていけた」、「別に相手に見えるわけではないけれども、(着ぐるみの中では自然とずっと笑顔になっていた)、「着ぐるみに入ったことで自分は思つていたよりも目立ちたがりだったし、人とかかる」といった意見が多かった。しかし、実際に自ら着ぐるみの中に入つて、実際に自ら着ぐるみの中に入つてみて、「うーん、なるほど…いつもより笑顔で積極的な気がする」そんな自分がいることを再確認すると同時に、ほかの着ぐるみを見た時に「ああ、彼もしくは彼女は今までこんな状況なのだろう」としみじみ中の人についてをはせることができるようになったのはこの経験のおかげでしょうか?

(高知大学 藤田早紀)

# 記念すべき「第10回大会」に向けて

～いきいき百歳大交流大会実行委員会の活動～

平成15年に高知市が始めた「いきいき百歳大交流大会」が、第8回で中止との話を聞き、私たち旧実行委員は、楽しみにしている高齢者の為「じゃあ、私たち市民でやろう！」と声をあげた。

行政ではできないアイデアを出して、1年に1回同窓会の様に集まり、親交を深め、楽しくて、役に立つ情報発信もできる大会を目指そうと、予算ゼロからスタートしました。高知市との交渉・大会会場探し・実行委員やボランティアの募集・助成金の申請・大会の企画・実行委員会や役員会の実施会場の確保・ポスター・チラシのアイデアを考えたり・広告協賛の募集等々、初めての事ばかりで無我夢中。夢中の10か月。

## ■ゼロからのスタートで無我夢中



10月16日（水）、「第10回いきいき百歳大交流大会」が県民文化ホール（オレンジ）で開催されました。第9回から、行政ではできない市民手作りの大会に関わってこられた、実行委員会代表の長田のぶ代さんに、その想いを寄稿していただきました。（のむ）

【寄稿文】  
いきいき百歳大交流大会実行委員会  
代表 長田 のぶ代

10月16日（水）、「第10回いきいき百歳大交流大会」を、1000人参加を目指し、会場は県民文化ホール（オレンジ）に変え、開催しました！

皆の力で大盛況で終える事が出来、不手際は多々有りましたが、参加者の笑顔や感謝の言葉に、喜びと達成感に満たされ、スタッフ一同「良かったね！良かったね！」「参加者に元気貰ったね。私も、90歳、100歳になつても元気でいようね！」

大会が終わってからも、「毎週体操について、来年も行くね」「休んでたけど、又行くね」「始めたいから、何処でやつてる？」「かみかみ百歳体操って良いね！ビデオは何処で貰える」「お世話様、有り難う、これからも頑張つてね」等々FAX、電話、手紙を頂きました。メンバーに、メールや電話をし、嬉しい事はなるべく皆で分かち合いました。

## ■「貯筋家」はひとつの大家族

記念すべき「第10回大会！」今年は、昨年の実績から高知市の予算が付きましたが、不足分の運営費の調達をどうするか？に始まり、会場は交通の便が良い・お洒落して参加してくれたオレンジホールでもう一年、曜日を変えて実施しよう。キヤツチフレーズは？いつも心掛けている、筋肉を貯える「貯筋」、高知県の「高知県は、ひとつの大家族やき」にちなんで「百歳体操をやりゆう皆も、ひとつの大家族やき」大会に来て、「貯筋家」の家族にならんかえ、待つちゅうぞね。と呼びかけ、PRしてきました。



▲ポスター・チラシ用の写真撮影

昨年同様、高知市・高知県に共催を、色々な団体・企業に後援をお願

いし、一般財団法人高知県職員互人社協議会の助成金、高知市民生委員会・高知県社会福利委員協議会連合会に働きかけ、ご寄付頂いたり、実行委員の方々も昨年より多くの広告協賛を貰つてきて運営費の目処も立ちました。

そして、ポスター・チラシ用の写真撮影、月1回の実行委員会、ボランティアの方も一緒のポスター・チラシの封筒づめ、健康づくり課の職員・県民文化ホールの職員・印刷会社の方との打ち合わせ、ポスター・チラシを体操会場にも、プログラムを広告協賛頂いた

施設にお届けした封筒詰め、淡路島のお世話役交流会には、いきいき百歳応援団の方々とPRに行き、準備を進めてきました。

# えぬひい! Oh!

▶ゆるキャラも参加者も一体となって「いきいき百歳体操」



## ■今年も元気な姿にパワーを貢つて

大会当日、天気も好転し、開場前から、玄関前は来場者で大賑わい。

尾崎高知県知事、岡崎高知市長のご祝辞に始まり、体操現役の90歳以上の方表彰、堀見忠司高知医療センター名誉院長の講演、堀川高知市保健所長のいきいき百歳体操のポイント、92歳の語り部市原麟一郎氏の昔話、花子座による消費者啓発の寸劇も笑いを誘い、体

操会場の永年表彰（10年以上）、ポスター表彰と続き、舞台のプログラムは盛り沢山。



ロビー周りでも、高知県看護協会、高知県薬剤師会、高知県歯科衛生士会、高知県介護福祉士会の医療・福祉・介護の相談コーナー。食品メーカーや排泄メーカーの相談・試供品配布コーナー。国際デザイン・ビューティカレッジの先生と生徒の方々のハンドケア、福祉職有志のセラピューテック・ケア。高知市健康づくり課の相談コーナー。作業所のお菓子販売コーナー。そして今年の目玉の一つ！ゆるキャラ（着ぐるみ）は12人集合！握手をしたり、記念撮影をしたりと大忙でした。

## ■参加したくなる大会を目指して来年も

今年も参加者の笑い声や笑顔に元気を貢い、90歳以上の方の元気な姿に又元気を貢い、皆で会場片づけをしながら、忙しかったけど、良かつたね！高齢者のパワーを貢つて、私たちも頑張ろうね！

当日も、色々なお問い合わせが有りましたが、翌朝初めて参加された企業・団体の方から、「皆（おばあちゃんたち）元気だね！、来年も是非手伝わせて下さい」堀見名誉院長からも、「あんな元気な大会に呼んで頂いて有難う。お疲れ様でした」と電話を頂きました。参加者のアンケートも、「来年も是非参加したい」と「出来たら参加したい」が大多数で、ホッとしたり、喜びが湧いたり。今年の反省点を踏まえて、来年もより楽しく、より役立

つ、参加したくなる大会を目指し、続けて活動していきたいと思います。

いきいき百歳体操、かみかみ百歳体操、高齢者に関心のある方、一緒に活動してみませんか？元気を貢えます。



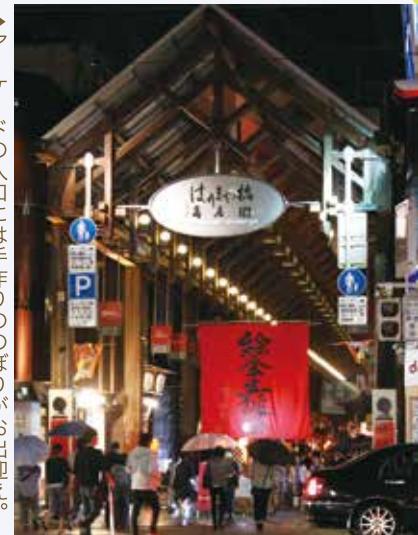
▲参加者が転倒などで怪我をされる事もなく無事お見送りし、スタッ

お問い合わせは、長田さん（070-5350-9186）まで。

えぬひい  
Oh!

# 絵金生誕祭

～はりまや橋商店街の新たな取り組み～



▶アーケードの入口には手作りののぼりがお出迎え。

10月5日（土）の晩、高知市はりまや橋商店街にて絵金生誕祭が行われました。灯りが落とされた木造のアーケード内には、香南市赤岡町から貸し出された絵金の芝居絵屏風のレプリカ5点が並び、絵金独特の「赤い世界」が妖しく浮かび上りました。

## ■ 絵金の生誕地・はりまや町

幕末の芝居絵師・金蔵（通称・絵金）は、1812年10月1日生まれ。絵金といえば芝居絵屏風が多く残り、「絵金祭り」で知られる赤岡町のイメージが強いのですが、生まれ育ったのは当時の新市町で、現在のはりまや町にあたります。このことから同商店街の店主らは、「いつか絵金の生誕地をPRするイベントを行いたい」という思いを温めている、ついに今年の開催となりました。



▲和服を着た若い売り子さん。ボランティアスタッフが祭りの雰囲気を盛り上げます。



▶大活躍の解説ボランティア。お客様からもたくさん質問が。お

会場では芝居にちなんだ金の描いた芝居の踊りや絵金の踊りなど、多くの人々が外部から関わってお祭りを盛り上げました。和服姿の会場案内係や出店係、芝居絵の解説スタッフはみなボランティアで、学生たちも多く関わっていました。特に

解説スタッフは数日間で絵金の物語を見事マスターし、当日は道行く人々に絵金の魅力を伝え、これまでもはりまや橋商店街は、餅つきやコンサートなどたくさんのイベントを行いました。彼らの芝居絵は、これまで通り、地域の夏祭りの晚に出されることが習わしとされ、現在でも10カ所ほどの神社の夏祭りで展示されている。

くさんのイベントを行つてきました。そのたびに様々なところからボランティアが集まり、商店街の活動にとって大きな財産となっています。

## ■ そしてこれから

絵金の生誕地として多くの人々に知つてもらうには、この祭りを一過性ではなく、継続して行わなくてはなりません。今回は赤岡町より芝居絵を借りて祭りの雰囲気を模しましたが、そもそもはりまや町は絵金が狩野派絵師として活躍した町でもあり、さまざまな展開が予想されます。これから絵金生誕祭は外部の協力を得ながら、はりまや橋商店街ならではの絵金イベントとして進化することとなるでしょう。

（横田）

\*絵金（1812～1876）…幕末に土佐で活躍した芝居絵師。若くして土佐藩の御用絵師となるが失脚、県内各地を放浪の後、歌舞伎や浄瑠璃を題材とした芝居絵屏風を大成して庶民の人気を得た。これらの芝居絵屏風は各地の夏祭りの晩に出されることが習わしとされ、現在でも10カ所ほどの神社の夏祭りで展示されている。



# ボランティアコーディネーター研修

## ～共感を引き出し、制限や制度を超えていく力～

9月12日（木）、高知県ボランティア・NPOセンター主催のボランティアコーディネーター研修「ボランティアのチカラをつないで活かす」が、ふくし交流プラザで開催された。講師は大阪ボランティア協会でボランティアコーディネーションを専門としている梅田純平先生。同協会では約50の事業を行っているが、驚いたことに、ボランティアの参加がなければどの事業も成り立たないそうだ。徹底してボランティアとの関わりを重視するのは、「顔の見える関係を作つておかなければ、有事の時に頼めない」ということ、「ボランティアにしかできないことがある」からだという。

組織として、なぜボランティアを受け入れるかが明確になつていなければ、求めるボランティア像も明確にはならない。組織で考える機会を持つことが大切なのだ。

■なぜ受け入れるのか？

「今日聞いて帰りたいことはなんですか」講義は、先生からの問いかけで始まった。「求めている層と違う人が来てしまう」「続けて来てくれない」「どう頼めばいいのかわからぬ」などの意見が出る。どこも悩みは共通するのか、頷いている参加者は多い。先生が一つ教えてくれた。求めている人と違う人が来る場合は、求めているものを正しく可視化文字化できていないからだ。

梅田純平先生。同協会では約50の事業を行っているが、驚いたことに、ボランティアの参加がなければどの事業も成り立たないそうだ。徹底してボランティアとの関わりを重視するのは、「顔の見える関係を作つておかなければ、有事の時に頼めない」ということ、「ボランティアにしかできないことがある」からだという。

休憩をはさみ、後半はグループ形式によるワークショップが行われた。まず、それぞれがボランティアコーディネーションの企画をワークシートに書き込む。その後グループ内で回し読みを行い、質問や気づいたことを付箋に書いて貼付けていく。「年齢制限はありますか？」「初めてでも参加できますか？」「活動にお金がかかりそう」次々と、応募する人が気になりそうな質問が書かれていく。



▶ワークショップで、他の参加者のシートをじっくり読み込む参加者。

### ■魅力的な企画を作るには

全員がシートを読み終わると、企画者が質問に答える。これはボランティアと企画を練っている状況と同じだという。どのグループでも真剣なやり取りが行われていた。第三者の目で磨かれた企画は、組織に持ち帰られ、今後のボランティアコーディネーションの種となっていくのだろう。

### ■ボランティアの可能性・コーディネーターの仕事

「嬉しい」「楽しい」「ありがたい」。ボランティアは、接した人にプラスの感情だけを残すことができる。生活の質を上げることができ。それは、職員にはできないことなのだという。

そしてボランティアコーディネーターの仕事は、「何をやって欲しいかではなく、何故やって欲しいか」という、W h y の想いをボランティアに語り共感してもらうこと。コーディネーターの想いがボランティアに伝わったとき、「いろんな制度や制限を、あまり超える」ボランティアにしかできない活動が広がっていくのだと感じた。

(たまき)



今回はいきいき百歳大交流大会から、元気なお二人をご紹介します！

## ～いきいきご長寿年齢当てクイズ～

スタート !!!

A～D の選択肢から一つ選び、年齢を当ててください♪



①東條 松枝さん

☆紹介文☆

約束事はすぐ頭の中に書きますのでメモは要りません。  
毎日、6時半に起床して、朝食は自分で作ります。朝はパンです。  
耳も聞こえますしメガネなしで新聞も読んでいます。

A.100歳 B.85歳 C.95歳 D.90歳



②寒川 英子さん

☆紹介文☆

気持ちのよい季節には杖を頼りに登る公民館への坂道。  
今日も百歳体操のみんなが待っているやさしい思いやりに感謝!!  
つたなくても絵をえがいて時を過ごし元気を頂きましょう!!

A.88歳 B.94歳 C.100歳 D.104歳

季節が変わり、街並も冬景色となりましたね。

外出の際はぬくぬくにして、体調万全で冬を元気に過ごしましょう☆



#編集スタッフの

## つぶやき

①岩貞



ネットショッピングが多い私は毎回コンビニ支払の端末操作に苦戦。爪が当たって端末が押せない。指先を横にスライドさせたり、押し付けたり…何度も繰り返しているうちにスゴ技が身に付きました。指を折り曲げて第2関節で押す! 気持ち良いぐらいスムーズに押せる。ますますお買い物が増えそう~

②大野



夏は青空の下、「暑い熱い」と言いながら火を囲んでBBQ。冬はあったかい部屋の中、こたつでほっこり笑顔が鍋を囲みます。季節によって囲むものは違えど、仲間で集まり美味しいものを食べる。そんな空間が大好き♪それが幸せな今日この頃。

③しのみや



誠にもって不謹慎なことだが、太平洋沖に台風が発生するとワクワクする。子どもたちは毎年のように台風直撃があり、おばあちゃんといっしょに庭先から外を眺め、「おばあちゃん! 雨が横に降りゅう」と興奮したものだ。あたいだけだろうな~。。

④のむ



テリソスの如く、振り払っても振り払っても押し寄せて来る肩の荷。悔いても悔いても悔やみきれない一瞬。赦すこと赦されること。あなたの人生もありますか?



@森岡

いきいき百歳大交流会の撮影を行った。みんな本当に元気だ!  
様々なことを経験して、生きることを楽しんでいる顔が会場に溢れていた。  
自分は人生を楽しんでいるんだろうか?



@松田

国際デザイン・ビューティカレッジ1年の松田です。  
ビーマンとゴーヤ以外の食べ物を愛しています。  
デザインに関してはまだまだ勉強し始めたばかりで分からなのですが、精一杯がんばります。  
よろしくお願いします。



@水口

来年からこの冊子の表紙デザインなどを担当させていただきます、水口と申します( ^ ^ )  
猫アレルギーですが、最近猫がかわいいです。将来犬を飼って「けっけ」という名前を付けたいです。  
派手なものが好きです。よろしくお願いします。

発行

高知市市民活動サポートセンター

企画編集

認定特定非営利活動法人

NPO高知市民会議 広報部会

〒780-0862 高知市唐佐町2丁目1-43 高知市たかじょう庁舎2階

月～金／10:00～21:00 土／10:00～18:00(日・祝日は休み)

TEL : 088-820-1540 FAX : 088-820-1665

E-Mail : npokochi@siminkaigi.com

WEB : http://www.kochi-saposen.net/

この冊子は再生紙を使用しています

答文: ① A.100歳 ② D.104歳

表紙・編集デザイン 国際デザイン・ビューティカレッジ 梶西紋吏紗 佐々木杏菜 吉岡優美  
水口真侑 松田健二郎

タイトルロゴデザイン 国際デザイン・ビューティカレッジ 西森美和 前野さくら

© Silhouette Design